

インターコネクション - Kさん体験の一部とご感想

【 インターコネクションのパターンを知る 】

Kさん「自分は人の影響を受けにくいほうではありません。他人はまだよいのですが、家族や身近に関わる人が限られていて、過去のつながりを引きずり続けていると、最近思うようになりました。そのあたりをスッキリさせたいです！」

☆ 人間関係や人とのつながりにおける基本的なパターンを回想。今現在に直接関係するテーマに気が付いていきます。最後に愛や平安（平和）的なインターコネクションの波動に整えます。

Kさん「基本的なパターンは、ぐちゃぐちゃしています。こんがらがった紐。解れないことはなさそう。でも、かなり大変。わるい状態の紐ではないけれど。感情や利害関係のテーマと言われとき、さきほどの紐が避けて、悲鳴やイライラしたうめき声が聞こえてきます。こわいですね。自分の声ではないと思います、たぶん。

脚色した関係は、この紐の見えている外側ではあるようですが、自分には関係なさそう。ストレスや葛藤を抱える関係は、別の空間で、戦争や紛争が起こっているニュースの場面が浮かびました。直接関わりないけど、知っていること。

愛と平安の波動にはいると、さっきの紐が、大きな鍋でぐつぐつと煮詰めながら溶けだすみたいに、ドロドロになっていきます。だんだんドロドロしたものが透明になって、穏やかな湖の場面になりました。湖の湖面から連想することかも、ですが、『鏡』という言葉が浮かびます。たくさんの鏡、実際にあるのかわかりませんが、すごい数の鏡を売っている鏡屋さんに自分が立っている、なんかシュールな場面です。また、湖の場面にかわりました。なんとなく理解できるけど、言葉にならないです。

今、目を開けたら、すごいはっきりものが見えます」

【 自己とのインターコネクション 】

☆ 「自己と繋がりを求めている自己」と対面、対話します。まずは、A：今（セッションにいる）自己を求めている自己、それから、B：潜在的に今（セッションにいる）自己が求めている自己、2者と対面、対話しましょう。

Kさん「Aはすぐ自分の左横にいます。不思議ですが、自分の左脚と、Aの左脚が一体に感じますけど。『えー、もうすぐ私はあなたになる、あなたが私になる』と言っています。どちらでもいいみたいですが（笑）。個別のことじゃなくて、全体的みたいです。そういう時期みたいです。

Bは、（セッションの部屋の）隣の部屋にいるような気がします。そんなに離れていないけれど、壁越しにいる気がする。なんだろう……。たぶん、これは自分ではまだわかっていない、何を求めているのかわかっていない、というのが壁越しの状態みたいです。知りたいんですけど。（隣のお部屋が空いているので、移動）移動してみると、さっきのセッションのお部屋とこちらの部屋の間にある、建物の建材が仕切りがまだ隔たりのある間隔を出してきます。でも、さっきよりは近いです。『自分で自分のことって、わからないんだよ』というのと『それでいい（わからないこと）』という感じが思い浮かびます。わかるということに疲れている、周りから知らされることを無視したいというか、なんとなくですが、自分の求めている自己の感覚が

うっすらとわかる。でも、ここでわからないままにしてくれている、ということですよね?」

- ☆ AとBの対話をしてもらいました。Bはさきほどの場所のままいて、そのポジション（わからないままがいい）みたいだ、とのことでした。

【 人生の時間軸、自然環境や空間、情報などとのコネクション 】

- ☆ まるで人や対象物と対峙するかのように、時間軸、環境、情報と対面します。関わり具合を感じたり、イメージで捉えるでしょう。

Kさん「人生の時間軸は、すごいキラキラとダイヤモンドみたいに輝いています。軸や線ではなく、輝きとして点滅してくれています。すごく気持ちよくて、この光景が見られてよかったと言いたい光景だし、ずっと見てみたいです。キラキラが細かい音として聞こえるような気がします。

自然の環境や空間は、ふだんよく行く場所で、そこは昔からずっと自然があって大きな樹木があるのですが、守られているのかな、という気がします。情報は、コンクリートの壁を掘削したときに出る石煙がモヤモヤと出てきました。埃っぽくて、よくみえない」

- ☆ 潜在意識レベルでインターコネクションを見直し、枯渇、不足、過剰、といった繋がりを修正します。アクティベーションも流します。

Kさん「さっきの自然の環境に、光がキラキラと降ってきてアニメみたいです。石煙の立ち込めたところは、光のキラキラで埃っぽいのが消えていきます。

フューチャーペーシング・・・時間どおり、規則正しい感じ。行った先の場所が整っている印象です」

【 自由なテーマとインターコネクションの統合 】

- ☆ Kさんの自由なテーマか、潜在的なテーマについてインターコネクションを整え、関連にします。特定の人物や、行動や活動でも行うことができます。

Kさん「親との関係が浮かびました。でも、むかしからいろいろあった出来事や思い出はまったくなくて、ただ、居てくれている、という感覚。すぐ近くに感じるけれど、違うところにいるような、不思議ですね。自分は覚えていないですが、赤ちゃんにとって、親ってこういうふうを感じる存在なのかな、という気がします」

Kさんの感想

いろいろなバリエーションの体験があって、とても楽しかったです。家族や身近に関わる人たちのことは少なめでしたが、今は軽やかになりました。